

まねごと山村農の 6 年記
黍稷農季人

Six Years Note as a Farmer at a Mountainous Village
Kibikibi Nonkijin

はじめに

山村は今日でも人間の文明が自然に対峙する前線であり、辺境 frontier でもある。この自然は二面性を持ち、非情に美しくも、豊穡な恵みを与えてくれる一面と、文明に対して容赦せずには排除する他面をもっている。自然と人間との関係は、たとえ無意識の野生動物の原人段階にあった時でも、何らかの敵対、共存、共生の生態的な進化過程を続けてきた。このために、フロンティアで暮らすためには生業に関する知識や技能が必要で、これらは人々の暮らしの歴史のなかで多様多重に蓄積されてきた。厳しい自然の中で、自由な生業の展開が日々の暮らしを何とか楽しく維持させてきたのだと思う。私は研究人生 40 余年にわたり、降矢静夫さんはじめ多くの山村の篤農たちに導かれて、自然に寄り添った暮らしの文化複合を学び、調査し、考察、論述してきた。職業を辞して後、彼ら古老から聞きとってきた山村暮らしの一端でも追体験したいと、山村農のまねごとを生業として 6 年間試してみた。自ら行った小規模農耕、家庭菜園ダーチャの経験を記録しておく。

謝辞：山村農を实践するにあたって、農耕地を快く貸して下さった守屋秋子さん（小菅村）、技術的な助言をくださった岡部良雄さん（丹波山村）および中川智さん（上野原市西原）、学術的助言をくださった安孫子昭二さん（考古学）はじめ研究協力者の皆さん、耕地の管理に助力くださった黒澤友彦さん（小菅村）に心より感謝します。また、小菅村と社会連携協定を結んでいる東京学芸大学の小柳知世先生、環境教育専攻学生の皆さん、多くの訪問者の皆さんにお礼申し上げます。

1. 山村における有機農法に用いた器具と資材

東京学芸大学の農場（彩色園）を私は 40 年管理してきた。上司の豊田篤治教授は農林省試験場長を経験しており、高い農業技術を有していた。7 年間にわたって、彼の助手として、いわゆる慣行農法の優れた農耕技術・技能を直接教わった。彼の退職後、農場を任されて、いわゆる慣行農法で的確に管理された農場を、折衷的に無農薬、部分有機農法にすることにした。良好な管理があったからこそ、農耕と保全を柱とした環境学習の実践の目的のために農場の管理方法を、基礎を大事にしながら崩し文字のように変形することができたのだ。他方、雑穀の調査研究は、山梨県上野原町西原から、関東山地、さらに全国の山村へ、また、ユーラシアの山村に向かうことになった。農家から分譲をうけて、収集した在来品種や近縁野生種の種子を用いて、栽培試験や植物学実験を行った。

このような職業を退いて後、山梨県北都留郡小菅村に、自然文化誌研究会として雑穀栽培園を作るために、守屋秋子さんの好意で農耕地を借りた。ここでは、旧来の農具のみで、農業機械を一切使用せずに、簡便な方法により有機農法を行うことにした。次に、使用した農機具、資材、肥料など、および用いた種子などについて記す。

1) 資材など

① 器具：クワ（3 本刃）、クサカキ、スコップ、移植ごて、剪定鋏、花鋏、鋏、竹籠、ノコギリ、鉋と除草具（庄村さんから寄贈）、ビニール袋、箕、鎌、ブルーシート、化粧ケース、バケツ。② 資材：支柱（各種）、テープ、防雀網、寒冷紗、洗濯ハサミ、アサヒモ、ポリエチレン・ポット、育苗箱。③ 肥料等：ケイヨーD2 有機肥料、牡蠣殻有機石灰、雑草、糠、野菜用土壌。

2) 種子の入手先

栽培のために野菜種子、イモ類の種薯やツルを次の 4 つの経路で入手した。① ホームセンター：主にプランタ用の野菜、イモ類、ニンニク、ユリなどを購入。② 種苗会社：野口種苗で野菜の在来・伝統品種あるいは有機農法用の種子を購入するようにした。後年は農業屋からジャガイモ、サトイモ、サツマイモの種薯やツルを購入した。③ 海外種苗店（植物検疫済）：海外旅行の際に購入して、空港で植物検疫を受けた。検疫は強化されて、2019 年現在は先方国の検疫許可証を求められ、観光旅行でそれを得るのは困難で、ほぼ個人輸入はできなくなった。④ 個人的な在来品種の分譲：埼玉（秩父）の借金なし大豆、高知のトウガラシなどの寄贈を受けた。

2. 農作業日記メモ（2014 年～2018 年）

2014 年 4 月から山梨県小菅村に畑を借りて、山村農の追体験をすることにした（図 1）。おおよそ毎週 1 日は通うことにした。主な作業は表 1 に示した。小金井市の自宅庭で育苗した作物は、ポリエチレン・ポットでカボチャ、キュウリ、ゴーヤ、ナーベラー（沖縄の食用ヘチマ）、ブロッコリー、カリフラワー、ハクサイ、カナダ旅行で買って来た野菜やイギリスの王立キューガーデンで買って来たディルを播いた。畑に直播したのはトウモロコシ、オオムギ、マメ類、オクラ、モロヘイヤ、定植したのはジャガイモ、ニンニク、タマネギであった。雑穀は黒澤さんが引き続き担当でテニスコート横の畑から移動して駐車場で栽培していたので、私は若干の手伝いをしていた。8 月 4 日にはトウモロコシの収穫を始め、8 月 13 日に行ったら、サルにすべて食害されていた。ジャガイモは、2014 年は当たり年だそうで、7 品種ともによく取れたが、秋ジャガイモは水っぽくて、味が良くなかった。カボチャもサルに食べられてしまった。ナス、トマトはたくさん収穫できた。インゲンもよく取れた。ゴーヤは少ししか取れなかったが、ヘチマは 40 本くらいよく取れた。春作のウリ類はウリハムシに食害されて、初期生育が良くなかった。野良仕事以外の活動や来訪者は次のとおりであった。8 月 29 日には雑穀協会の事務局長中西さんほか 1 名を小菅村に案内した。東京近隣で雑穀が栽培されていることに、賛意を示していただいた。9 月 29 日は小金井市の江戸野菜講座の方々を小菅村に迎えた。彼らは東京学芸大学彩色園で、江戸野菜を学ぶ講座の受講生であった。11 月 8 日は小菅村で環境学習セミナー、11 月 9 日は藤野で行われた種市で講義をした。11 月 15 日は武蔵野公園にて東京学芸大学彩色園の職員の人々と芋煮会をし、小菅で栽培したサトイモとネギを提供したが、美味しかった。

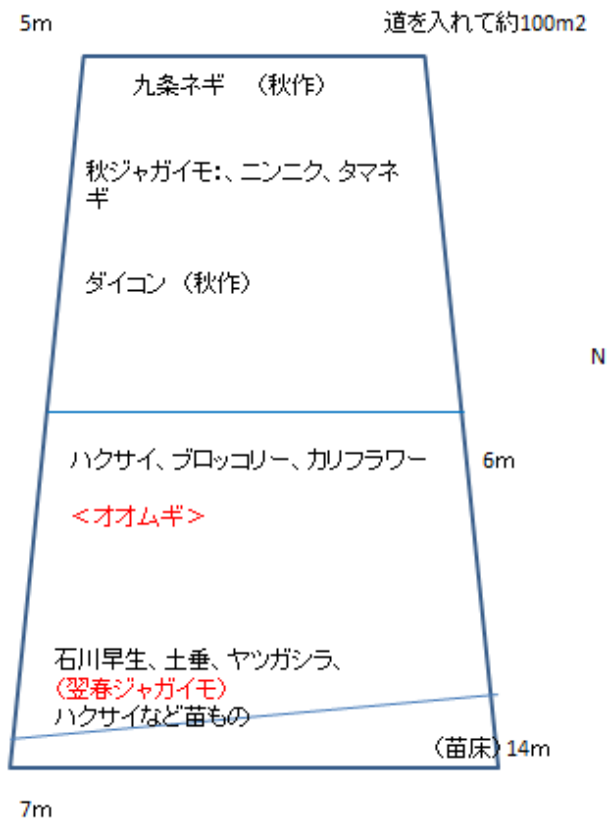


図 1. 電気柵に囲われた物産館駐車場下の畑の作付

畑は南東方向に傾斜しており、上部は冬でも幾分陽当たりがあり、麦類も栽培可能であった。おおよそは夏作のハルマジで、野菜やジャガイモを早春から晩秋にかけて栽培している。オオムギの栽培を試してみた。

表 1. 年間の農作業 2014 年

月	日	場所	主な作業内容
4			畑を借りる
5	7	小菅	トウモロコシを播種した。
	13	小菅	マメ類を播種、カボチャとキュウリを定植した。
6			
7	13	小菅	マメ類を播種、カボチャとキュウリを定植した。
8	4	小菅	トウモロコシの収穫を始めた。
	13	小菅	サルにトウモロコシのすべてを食害された。
	15	小金井	ブロッコリー、カリフラワー、ハクサイをポリポットに播種、ユリなどを庭に定植した。
	17	小金井	カナダ旅行で買ってきた野菜やキューガーデンで買ってきたディルを播種した。
	25	小菅	秋ジャガイモ、ニンニク、タマネギを植えた。
	29	小菅	雑穀協会職員を小菅村に案内した。
9	29	小菅	江戸野菜講座参加者を小菅村に迎えた。
10	31	小菅	オオムギを播種した。
11	8	小菅	環境学習セミナー
	9	藤野	種市で講義をした。
	15	小金井	武蔵野公園にて学大彩色園の職員の人々と芋煮会をした。サトイモとネギも良好で、美味しかった。
12			

2015 年

おおよそ毎週 1 日小菅に通い、中央公民館で民具展示の整備、図書や標本の整理を行った。農作業については表 2 にまとめ、作付けは図 2 に示した。駐車場下の畑の他に、麦作のために森の畑も借用することになった。森の畑は冬作も可能なムギジで、とても陽当たりがよい (図 3)。南東方が大きく開けており、谷下からの風通しも良い。このために霜や雪はすぐに融ける。ただし、電気柵は簡易なソーラー・パネルを電源とし、電気網も軟弱なものであった。この畑から縄文土器が出土しており、これらの破片は守屋さんの好意で、安孫子さんに鑑定していただき、植物と人々の博物館のガラス・ケースに展示してある。

野良仕事以外の活動は、1 月 23 日は小菅村の帰りに都心に出て、UFJ 財団の新年会に黒澤さんと参加した。2 月 21 日は自然文化誌研究会理事会、その後、ミュージズ研究会に参加した。4 月 5 日につぶつぶ Cafe の大谷さんらが視察に訪れた。5 月 9 日小菅にて雑穀栽培講習会。7 月 4 日、東京学芸大学の学生実習。7 月 6 日は上野原市西原の中川さん宅経由で、小菅の畑に向かった。7 月 25 日、西原で自給農耕ゼミとしてオオムギの精白を行った。7 月 30 日、小菅で野良仕事の後、西原の中川さんからオオムギを受け取り、長寿館の館長に面会した。8 月 31 日、道の駅こすげで展示作業、カリフラワーなど定植。9 月 25 日、丹波山村の岡部良雄さんを訪問、のめこい湯の白木さんを訪問した。10 月 10 日、小菅村で、第 35 回環境学習セミナーを開催した。10 月 25 日~26 日に、秀明自然農法の会の大村さんらを小菅村と藤野に案内した。11 月 8 日、藤野で自給農耕ゼミをした。11 月 14 日、第 36 回環境学習セミナーを開催した

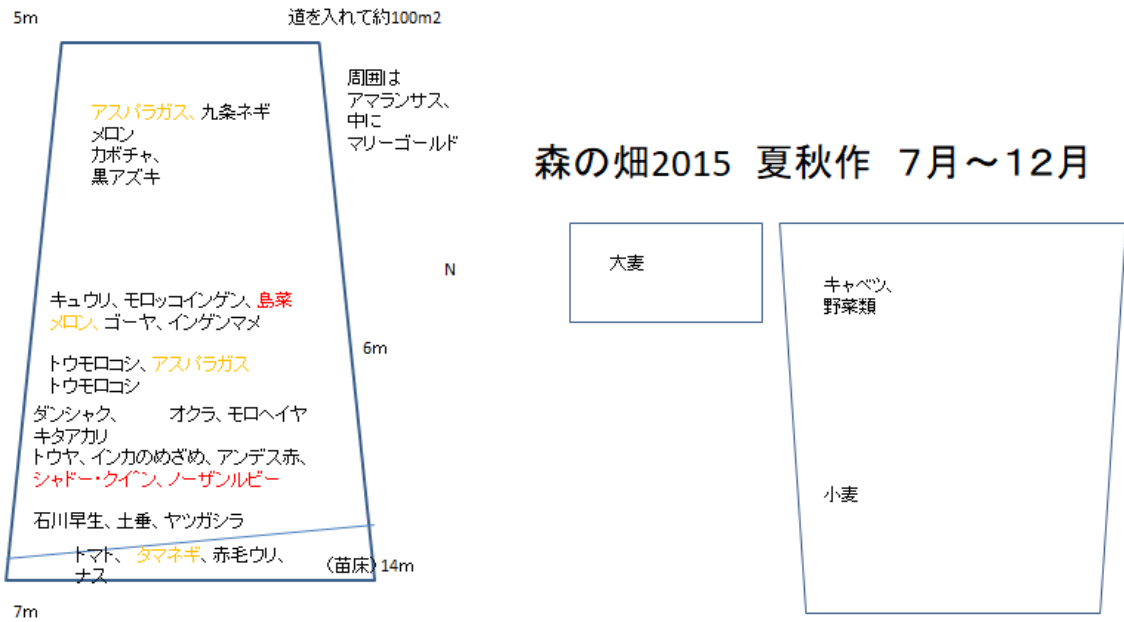


図 2. 物産館駐車場下および森の畑の作付



図 3. 電気柵に囲われた畑、収穫期の防雀網

表 2. 年間の農作業 2015 年

月	日	場所	主な作業内容
1	7	小菅	図書の整理に行き、麦踏2回目をした。
	23	小菅	帰りに都心に出て、UFJ財団の新年会に黒澤さんと参加した。
2	21	小菅	自然文化誌研究会理事会、その後、ミュージーズ研究会に参加した。
3	8	小金井	小金井でカリフラワーとブロッコリーを播種した。
	20	小菅	ジャガイモ畑の畝たてをした。
4	1	小菅	ジャガイモの定植をした。
	5	小菅	つぶつぶCafeの大谷さんらが視察に訪れた。
	6	小菅	サトイモの定植をした。
	17	小菅	ムギ類への防雀網を張った。
5	24	小菅	ムギ類への防雀網を張った。トウモロコシの1回目の播種をした。
	1	小菅	カボチャを定植し、ゴボウの播種を行った。
6	9	小菅	雑穀栽培講習会。
	15	小菅	カボチャが生育不良であったので、ヒョウタンを播いた。
	1	小菅	オオムギの干し場を作り、サツマイモを植えた。
	5	小菅	オオムギを刈り取り、乾燥した。
7	8	小菅	九条太ネギを定植した。
	12	小菅	九条細ネギを定植し、トウモロコシの2回目の播種をした。
	4	小菅	東京学芸大学実習で講義。
	6	小菅	上野原市西原の中川さん宅経由で、小菅の畑に向かった。
	12	小菅	オオムギの脱穀。
	15	小菅	オオムギの脱穀。
	22	小菅	オオムギの調整。
8	25	西原	自給農耕ゼミとしてオオムギの精白を行った。
	30	西原	草取り、野菜収穫後、西原の中川さんからオオムギを受け取り、長寿館の館長に面会した。
	5	小菅	草取り。
	8	小菅	草取り。
9	11	小菅	三浦ダイコン、聖護院カブを播種した。
	17	小金井	ハクサイの播種。
	23	小菅	大量のトウガラシを収穫。キャベツはシロチョウの食害を受けた。
	31	小菅	道の駅こすげで雑穀街道の展示作業、カリフラワーなど定植。
	3	小菅	草取り。
10	15	小菅	ハクサイ定食、源助ダイコン播種。
	25	丹波山	岡部良雄さんを訪問後、のめこい湯の白木さんを訪問した。
	5	小菅	ジャガイモ掘り、除草。トウガラシとアカゲウリは収穫終了した。
	10	小菅	第35回環境学習セミナーを開催した。
	15	小菅	夏作の跡片付けをした。
	19	小菅	オオムギを播種し、サトイモを収穫した。
	25	小菅	秀明自然農法の会の大村さんらを案内した。
11	26	藤野	秀明自然農法の会の大村さんらを案内した。
	30	小菅	サトイモと雑穀の収穫を終了した。
	7	小菅	サツマイモ、ゴボウの収穫、エンドウマメの播種をした。
	8	藤野	自給農耕ゼミをした。
12	14	小菅	第36回環境学習セミナーを開催した。
	28	小菅	モチオオムギを播種した。
	2	小菅	コムギ播種。
12	16	小菅	図書整理後、藤野に行く。
	28	小菅	麦踏をした。

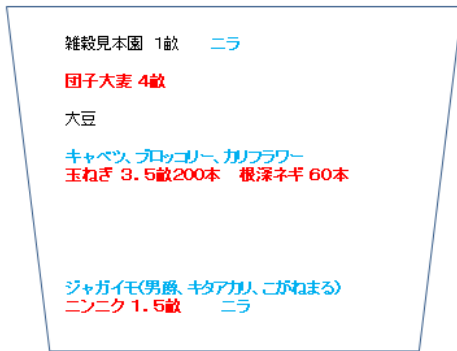
2016 年

野良仕事の記録は表 3 に示した。畑は 3 か所を借りることになった (図 4)。新たに借りた中の畑で、黒澤さんがアワとキビを雑穀栽培講習会で作り、残りの部分で守屋さんと私が野菜を栽培した。野良仕事以外の主な活動や訪問は次の通りであった。1 月 8 日に図書整理に行った。児玉さん母娘が訪問して下さった。1 月 21 日は夕方ミュージアム研究会であった。2 月 20 日は麦踏と追肥、その後、自然文化誌研究会の総会に出た。3 月 4 日、春耕、ネギ定植後、藤野に図書を移動した。藤野にある農業法人藤野倶楽部の桑原社長の好意で、農家 民宿無形の家倉庫の一室に、森とむらの図書室分室と種子貯蔵用の冷蔵庫を置かせていただけることになった。この分室には原沢文庫約 1200 冊を置くことにして、小菅から移動して整理することにした。種子貯蔵用冷蔵庫は私が自費で購入していたので、この中に実験用に残していたキビを中心に約 600 系統の雑穀を入れてトランジション・タウン藤野のお百姓くらぶに移管したものである。この中には宮本さんが近隣の秋山村や、私が藤野の佐野川地区の農家から分譲を受けた種子も含んでいた。赤い穎のアワはその後、自給農耕ゼミで復活し、藤野地域の幾人かが栽培している。3 月 10 日に豊丘村から 6 名が視察に来訪、ジャガイモ畑の準備をした。5 月 4 日、植物と人々の博物館の解説を源流祭りで行った。5 月 14 日、自給農耕ゼミで雑穀の播種を行った後、トウモロコシ (高知地キビ)、トウガラシ播種、トマト定植した。5 月 21 日、藤野分室に原沢文庫の収納を終えた。6 月 18 日、藤野で自給農耕ゼミ、雑穀の播種をした。6 月 25 日、コムギの刈り取り、第 37 回環境学習セミナーを行った。7 月 5 日、千葉大学園芸学部のソフィアさんを訪問した。8 月 5 日、冒険学校の手伝いで、カレー作りのプログラムをした。スクールがあり、多くのブヨが来襲した。8 月 19 日に埼玉県小川町のマイクロブルワリー馬場勇さんを訪問し、藤野の山口海さんらを紹介した。8 月 31 日、ネギ播種、トマト実割れ、アブラナ科野菜は昆虫に食害された。作業後、藤野に向かった。9 月 3 日、第 38 回環境学習セミナー。豊田駅で中込さんに便乗させてもらう。9 月 30 日に西原の中川さんに麦類の加工を依頼した。10 月 23 日、藤野でセミナー開催。11 月 5 日、武蔵野公園で芋煮会をした。11 月 26 日、黒澤夫人の依頼により上野原保健センターで講義するため、小菅から西原経由で上野原に行った。11 月 27 日、藤野で自給農耕ゼミ。12 月 1 日、藤野で書庫整理をした。12 月 8 日、宮崎県椎葉村に講義に行った。椎葉村での活動に刺激されて、12 月 16 日に農水省に FAO 世界農業遺産に関して相談に行った。12 月 21 日、藤野の篠原の里、小菅の畑、小菅観光協会に行った。

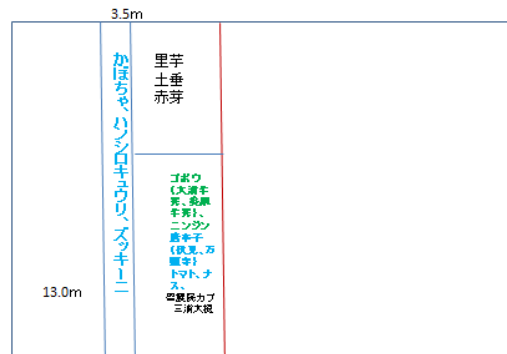
麦類の生育は良好であった。セロリ、アザミタカナ、エンドウマメなども良く生育した。中の畑は斜面下の平坦地であり、土壌の蓄積は良いが水はけは悪く、朝は神社の丘の陰には入り、冬の陽当りは少ない。ゴボウは生育が著しく悪く不作であった。サツマイモやジャガイモも雨が少なければよいが、多雨の年には、日照不足とともに土壌水分過多によって、イモが腐るなど不作になった。森の畑は陽当たり、水はけなどが良いので、縄文人が暮らしたこともうなずける。水場も近く、見晴らしも良く、霜や雪も早く融ける。後背には豊かな里山があり、狩猟・採集にも適している。

冬の同日に写した畑の様子を示した (図 5)。森の畑 (ムギジ) は陽ざしを受け得てすぐに雪が融けているが、駐車場下の畑 (ハルマジ) は長らく雪が融けないままであった。前者では冬作のムギ類が良く生育し、後者では生育が不良であることがよく理解できる。物産館の駐車場から見て、森の畑は中央の鞍部下、南方にある。

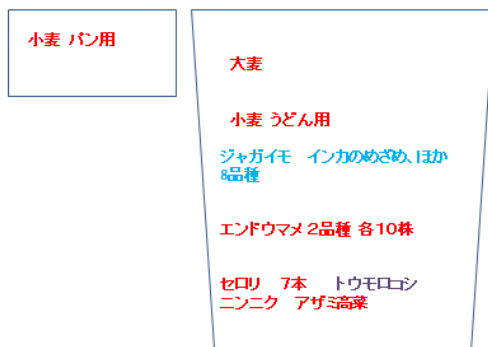
駐車場の畑 春作 ~7月



中の畑2016 春秋作~12月



森の畑2016 春作 ~7月



森の畑2016-2017 秋冬作

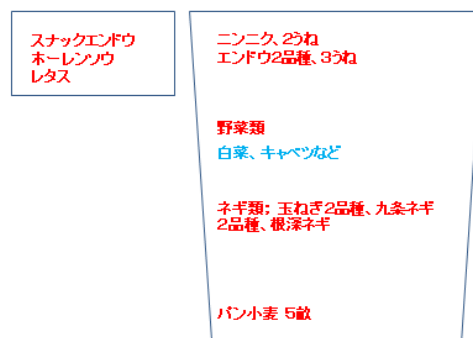


図 4. 物産館駐車場下および森の畑の作



図 5. 森の畑の冬景色および物産館駐車場下の畑

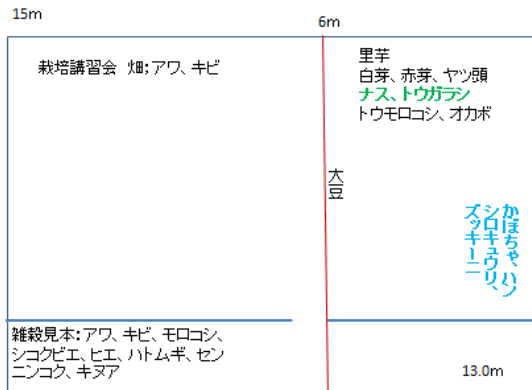
表3. 年間の農作業 2016年

月	日	場所	主な作業内容
1	8	小菅	図書の整理に行った。児玉さんが訪問してくださった。
	15	小菅	図書の整理。
	21	小菅	夕方にミュージーズ研究会。
2	4	小菅	図書の整理。
	11	小金井	ネギを播種した。
	14	小金井	キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーの播種。
	20	小菅	麦踏と追肥、その後、自然文化誌研究会の総会に出た。
3	28	小金井	ホーレンソウ、二十日大根、ピーズの播種。
	29	小菅	タマネギ定植、根深ネギの畝たて。
	4	小菅	春耕、ネギ定植後、藤野に図書を移動した。
	6	小金井	ハツカダイコンが発芽した。
	10	小菅	豊丘村から6名が視察に来訪、ジャガイモ畑の準備をした。
4	22	小菅	ジャガイモの定植。
	28	小菅	キャベツ、ニラ、ジャガイモ定植。
	8	小金井	カボチャ、トマト、ウリ類、草花の播種。
	11	小菅	サトイモ定植。
	20	小金井	スイカ、ナスの播種。
	26	小菅	トウモロコシ、ゴボウ、ニンジン播種、オオムギの網掛けをした。
5	4	小菅	植物と人々の博物館の解説。
	6	小菅	エンドウ豆の収穫、トマト、カボチャの定植、雑穀見本園で播種、キャベツの青虫取り。
	11	小金井	トウガラシ新品種を播種。
	14	小菅	自給農耕ゼミで、雑穀の播種、トウモロコシ（地キビ）、トウガラシ播種、トマト定植。
	19	小菅	スイカ定植、エンドウ豆の多数収穫。
	21	藤野	藤野分室に原沢文庫の収納を終えた。
	25	小菅	ニンニク収穫、エンドウマメの収穫多数。
6	31	小菅	オオムギ収穫、サツマイモ定植。
	3	小菅	オオムギの脱穀。
	6		梅雨入り。
	11	小菅	オオムギの脱穀。
	18	藤野	自給農耕ゼミ、雑穀の播種。
	19	小菅	オオムギの脱穀、エンドウマメの茎葉整理。
	25	小菅	コムギの刈り取り、第37回環境学習セミナー。
	27	小菅	ダンゴムギ、コムギの刈り取り、タマネギ収穫。
7	4	小菅	除草。
	5	松戸	千葉大学にソフィアさんを訪問した。
	8	小菅	ダイズ播種、ネギ定植。
	12	小菅	インゲンマメ、ヒヨットの播種、除草作業をした。
	19	小菅	除草。
	21	小金井	コールラビー等を播種。
	24	小菅	除草。
	25	小金井	キャベツ、ハクサイ、カリフラワーを播種した。
	27	藤野	打ち合わせ
	30	小菅	トウモロコシ収穫。
8	5	小菅	冒険学校の手伝い、スクールがあり、ブヨが来襲した。
	9	小菅	除草。
	16	小菅	トウモロコシの跡整理。夏野菜の収穫多数。白菜、キャベツの定植。
	19	小川町	マイクロブルワリー馬場勇さんを訪問した。藤野の山口海さんらを紹介した。
	24	小川町	キャベツなどはヨトウムシかに被害された。カブ播種、草取り作業。
	29		台風10号来襲。
9	31		ネギ播種、トマト実割れ、アブラナ科野菜は被害。作業後、藤野に向かった。
	3	小菅	第38回環境学習セミナー。豊田駅で中込さんに便乗させてもらう。
	9	小菅	ムギの調整作業。
	16	小菅	ムギの調整作業。
	21		台風襲来。
	25	小菅	除草。
10	30	西原	中川さんに麦類の加工を依頼した。
	20	小菅	サトイモ、サツマイモ、ネギ、マメ、トウガラシを収穫した。
	23	藤野	セミナー開催。
	26	小菅	サツマイモ、サトイモ収穫。
11	5	小金井	武蔵野公園で芋煮会。
	8	小菅	ニンニク定植、コムギとエンドウマメを播種した。
	26	小菅	上野原保健センターで講義のため、小菅から西原経由で、上野原に行く。
	27	藤野	自給農耕ゼミ8。
12	1	藤野	書庫の整理。
	8		宮崎県椎葉村に講義に行く。
	16		農水省にFAO世界農業遺産に関して相談に行った。
	21	小菅	藤野の篠原の里、小菅の畑、小菅観光協会に行った。

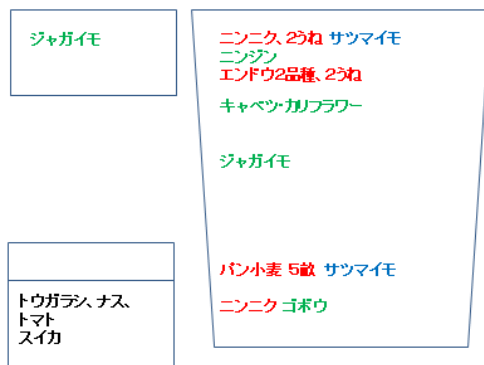
2017 年

野良仕事の合間に、雑穀栽培に関する講習会や講義をするように心掛けた（表 4）。さっそく、1 月 7 日、東京都公園協会で講義。1 月 19 日はさいたま市にある関東農政局環境課 に行き、FAO 世界農業遺産の申請について相談し、その後、小菅村に行き、村長に報告した。1 月 27 日、藤野に小山さんを訪ねた。2 月 8 日、小菅でミュージズ研究会。2 月 18 日、小菅で自然文化誌研究会総会。2 月 25 日、飯田橋で民族植物ゼミ。2 月 26 日、藤野で種子の整理、その後、自給農耕ゼミをした。3 月 17 日、図書の整理。3 月 24 日、畝たてをして から、ニンジンとゴボウを播種した。岡部さんを訪ねた。3 月 31 日、小菅村長を訪問、ジャガイモ、キャベツ、カリフラワーの定植、帰途、中川さんを訪問した。4 月 15～16 日、藤野で第 39 回環境学習セミナーを開催した。4 月 19 日、農水省に木下さんと黒澤さんと一緒に FAO 世界農業遺産の発表会に行った。5 月 4 日、植物と人々の博物館公開解説。5 月 14 日、学大実習を兼ねて自給農耕ゼミ、カボチャ、キュウリ、ズッキーニ、定植。5 月 19 日、雑穀見本園で播種。トマト、スイカ、ポロネギを定植した。5 月 28 日、ミレット藤野、栽培講座で雑穀播種。6 月 25 日、ミレット藤野、その後、中村さんらに会う。7 月 14 日、NPO 西原グループの視察。8 月 6 日、パーマカルチャーおよびトランジション・タウン合同 研修会で河口湖に行き講義。8 月 10 日、中学校社会科教員グループの案内、畑で収穫作業。9 月 8 日、小菅で作業の後、上野原市役所に行く。9 月 27 日、安孫子先生ら訪問、サトイモを試掘。トマト、ナス、トウガラシ、マメなど沢山収穫した。キュウリは最終収穫であった。10 月 15 日、小菅から藤野に向かった。10 月 29 日、強雨のために藤野での脱穀は中止して、佐野川地区の 4 軒を訪問、打ち合わせをした。11 月 12 日、武蔵野公園で芋煮会。11 月 19 日、西原でコムギの搗精作業。12 月 2 日、小菅で、自然文化誌研究会運営委員会。12 月 3 日、藤野の木下さん宅で料理講習。12 月 15 日、宮崎県椎葉村で講義。12 月 19 日、藤野で図書の整理をした。森の畑に耕作地を集中する（図 6）。秋子さんがスクーターで移動するには、丘の上にある森の畑は困難を伴う。このために、一番良い畑だが、順次、借用面積を拡大して、1カ所に集約することになった。森の畑では 9 月 7 日にイノシシによるサトイモの食害が発生した。中の畑は黒澤夫妻が引き続き使用する。ダイズは他の品種が不作であったが、借金なしは良く生育して、十分に収穫できた。3 月 19 日に借金なし大豆で自家製味噌の仕込みをした。自然栽培イネの麴はマルカワ味噌から取り寄せた。この味噌は翌春に食に供したが、とても美味しく出来上がっていた。3 家族で 4 か月間、使用できた。ウリ類はとても良く収穫できた。トウガラシは霜が降りてもしばらくは収穫できた。ゴマは生育が弱く、少量しか収穫できなかった。

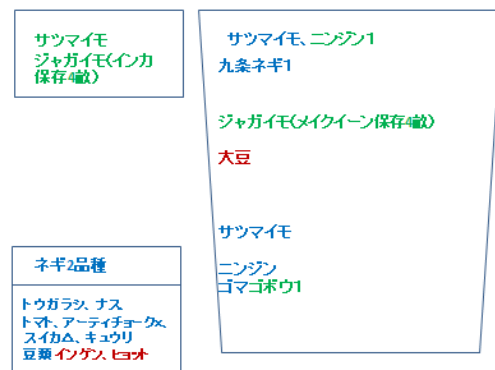
中の畑2017 春作(秋中止)



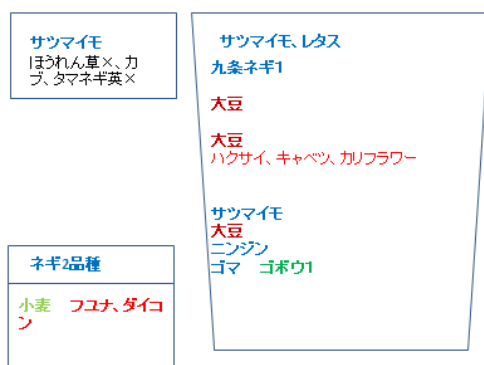
森の畑2017 春作



森の畑2017 夏作



森の畑2017 秋作



森の畑2017 秋冬作

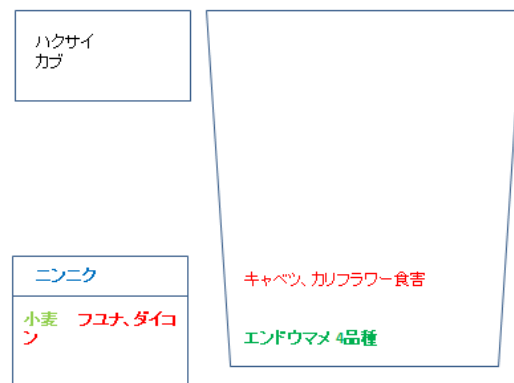


図 6. 中および森の畑の作付

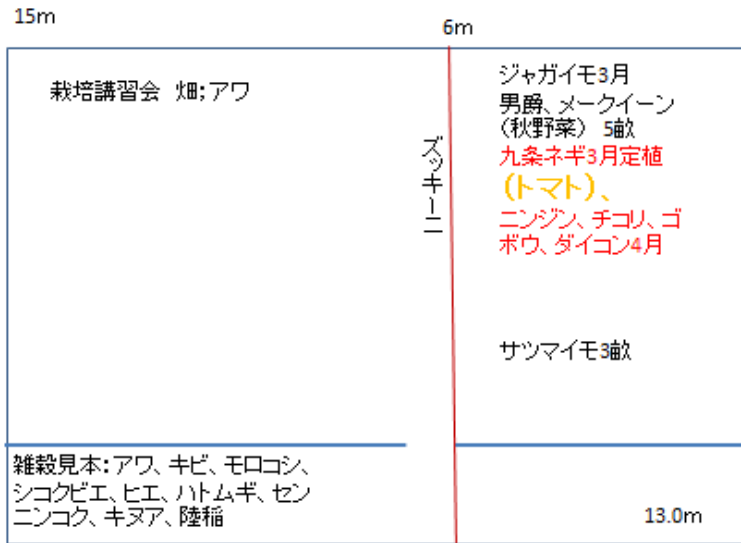
表4. 年間の農作業 2017

月	日	場所	主な作業内容
1	7		東京都公園協会で講義。
	11	小菅	麦踏。
	19	小菅	さいたま市の関東農政局環境課に行き、FAO世界農業遺産の申請について相談し、その後、小菅村に行き、村長に報告した。
2	27	藤野	小山さんを訪ねた。
	8	小菅	ミュージズ研究会。
	18	小菅	自然文化誌研究会総会。
	22	小金井	ネギ播種。
3	25		飯田橋で民族植物ゼミ。
	26	藤野	種子の整理、その後、自給農耕ゼミをした。
	1	小金井	春キャベツ、カリフラワーを播種した。
	8	小金井	ルッコラ播種、ネギの苗仮植え。
	10	小菅	麦踏。
	17	小菅	図書の整理。
4	19	小金井	味噌のしこみ。
	24	小菅	畝たてをしてから、ニンジンとゴボウを播種した。岡部さんを訪ねた。
	31	小菅	小菅村長を訪問、ジャガイモ、キャベツ、カリフラワーの定植、帰途、中川さんを訪問した。
	10	小金井	カボチャ、トマト、アーティチョーク、ルッコラ、ネギなどを播種した。
	15	藤野	第39回環境学習セミナーを開催した。
	16	藤野	第39回環境学習セミナーを開催した。
	17	小金井	トマト、ピーマン、トウガラシ、ナスを播種した。
	19		農水省にFAO世界農業遺産の発表会を聞きに行った。
	21	小菅	畝たて、サトイモの定植、オカボ、トウモロコシ3品種の播種。
	28	小菅	ネギの定植。
5	1	小金井	オクラ、キュウリ、バジルを播種した。
	4	小菅	植物と人々の博物館公開解説。
	13	小金井	ナス、トマト鉢上げ。
	14	小菅	学大実習を兼ねて自給農耕ゼミ、カボチャ、キュウリ、ズッキーニ定植。
	19	小菅	雑穀見本園で播種。トマト、スイカ、ポロネギを定植した。コムギの網掛け。
	27	小菅	ナス定植、エンドウマメ初摘み。
	28	藤野	ミレット藤野、栽培講座で雑穀播種。
	2	小菅	野良仕事。
6	16	小菅	野良仕事。
	19	小金井	キヌア播種。
	22	小金井	キヌア発芽。
	23	小菅	畑の引っ越し準備。
	25	藤野	ミレット藤野、その後、中村さんらに会う。
	2	小菅	エンドウマメ跡の片づけ、草取り、ジャガイモ収穫、トマトにウイルス発生。公民館の確認。
7	7	小菅	ダイズ、ゴマ、ニンジン播種。
	14	小菅	NPO西原グループの視察。
	21	小菅	野良仕事
	28	小菅	サトイモの除草、ホーレンソウ、カブ、タマネギの播種。
	29	小金井	白菜、キャベツ、カリフラワーの播種。
	6	小菅	パーマカルチャーおよびトランジションタウン合同研修会で河口湖に行き講義。
	10	小菅	中学校社会科教員グループの案内、畑で収穫作業。
8	18	小菅	野良仕事
	29	小菅	カボチャ、トウガラシなど収穫、ダイコン播種した。
	7	小菅	イノシシによるサトイモの食害発生。
	8	小菅	小菅で作業の後、上野原市役所に行く。
	15	小菅	ゴマの収穫。
9	27	小菅	安孫子先生ら訪問、サトイモを試掘。トマト、ナス、トウガラシ、マメなど沢山収穫した。キュウリは最終収穫であった。
	5	小菅	急に寒くなった。カボチャ、ひよっと、野菜の収穫をした。
	15	小菅	小菅から藤野に向かった。
	18	小菅	トウガラシ、ナス、トマト収穫終了、ダイコン、カブ収穫。
	23	小金井	フユナ、エンドウマメを播種した。
	27	小菅	サトイモの収穫、雑穀、ひよっとは収穫終了した。
	29	藤野	脱穀は中止して、4軒訪問、打ち合わせをした。
11	1	小菅	エンドウマメ、ニンニク、コムギを播種した。
	12	小金井	武蔵野公園で芋煮会。
	13	小菅	畑と本の整理。
	19	西原	コムギの搗精作業。
	24	小菅	ダイコン、カブ収穫、エンドウとコムギは順調な生育、ニンニクは未発芽。その後、図書の整理。
12	2	小菅	自然文化誌研究会運営委員会。
	3	藤野	木下さん宅で料理講習。
	15		宮崎県椎葉村で講義。
	19	藤野	図書の整理をした。

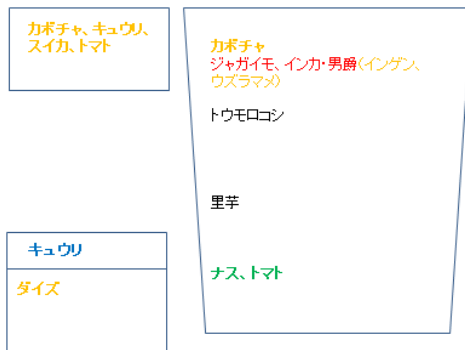
2018 年

野良仕事の合間に、雑穀栽培や環境学習の普及の活動も続けた（表 5）。1 月 27 日、神楽坂で民族植物ゼミ。2 月 18 日、岡部さん、中川さん宅訪問、その後、自然文化誌研究会総会があった。2 月 24 日、麦踏をしてから、中川さんを訪問し、富澤さんに会う。4 月 9 日、上野原市役所で環境学習セミナーを開催した。4 月 29 日、東京学芸大学で恒例の野草のてんぷらづくりと茶摘み実習があり、その後、国分寺で自然文化誌研究会運営委員会があった。5 月 4 日、井狩で植物と人々の博物館公開解説、能勢さん来訪。6 月 2 日、東京学芸大学の小菅実習で雑穀街道の普及について講義した。6 月 3 日、藤野で自給農耕ゼミ。7 月 2 日、藤野打ち合わせ。7 月 22 日、JICA 市ヶ谷でアフリカの雑穀について講義した。8 月 20 日、立川で食農教育ゼミを開催。8 月 27 日、環境教育学会のエクスカージョンを小菅で受け入れた。9 月 6 日、丹波山村村長を岡部さんと訪問。9 月 27 日、再度、丹波山村村長に面会し、彼の帰宅途中、自動車に同乗して小作駅まで送っていただき、幅広い対話ができた。9 月 30 日、食農教育研究会、福田さんの案内で小平うどんの探索をした。この機会に、オカボとハトムギの畑を見た。10 月 3 日、安孫子さんら 3 名訪問、上野原経由で帰途についたが、樹木が倒れて道路を塞ぎ、迂回のために狭い林道を経由して桐原に出た。11 月 11 日、岡部さん宅を小柳先生と学生 2 名が訪問した。11 月 16 日、考古学者の中山先生ほか 1 名訪問。12 月 6 日、藤野地域センター訪問して、雑穀街道について説明した。7 月 28 日に台風 12 号襲来、続いて 8 月 9 日に台風 13 号が襲来した。スイカ、メロン、ナス、カボチャ、キュウリをイノシシが食害した。中の畑では、ジャガイモ、サトイモ、ダイコンがよくできた。しかし、ゴボウはまた生育不良で、連作の前歴もないので、土壌が合わないかと考えられる。雑穀見本園の生育は良好であった（図 7）。森の畑ではダイズ（借金なし）、ニンニク、エンドウマメなどが良好で、良い収穫量であった。サトイモもとても良く収穫することができ、知人におすそ分けができた。

中の畑2018 春夏作



森の畑2018 春夏作2



森の畑2018 春夏作

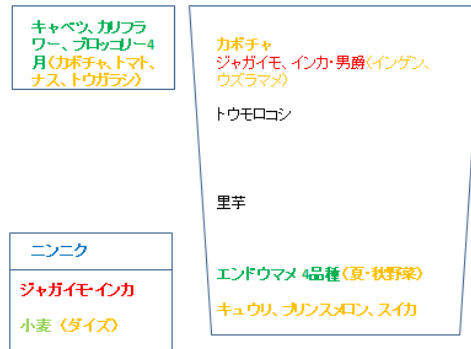


図 7. 中および森の畑の作付

表5. 年間の農作業 2018年

月	日	場所	主な作業内容
1	19	小菅	中川さん宅訪問を中止して、小菅に行った。
	27		神楽坂で民族植物ゼミ。
2	3	小金井	注文したジャガイモ種薯が着く。
	9	小菅	野良仕事。
	16	小金井	タマネギ、ミズナを播種した。
	18	小菅	岡部さん、中川さん宅訪問、自然文化誌研究会総会。
	24	小菅	麦踏をしてから、中川さんを訪問し、富澤さんに会った。
	27	小金井	ジャガイモの種薯が届いた。
3	1	小金井	キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーを播種した。
	12	小菅	春耕した。
	18	小金井	味噌づくりをした。
	19	小菅	野良仕事。
	26	小金井	スナックエンドウが開花した。
	30	小菅	ジャガイモ、九条ネギを定植した。
4	5	小菅	ニンジン、ゴボウ、ダイコンを播種、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワーを定植。
	9	上野原	上野原市役所で環境学習セミナーを開催した。
	27	小菅	キヌサヤエンドウの初摘み。
	28	小金井	夏野菜の播種。
	29	小金井	学大で恒例の茶摘み実習、その後、国分寺で自然文化誌研究会運営委員会。
5	3	小金井	カボチャを播種。
	4	小菅	井狩で植物と人々の博物館公開解説、能勢さん来訪。
	5	小金井	ナス、トマト、キュウリ、スイカ、トウガラシを播種した。
	12	小金井	カボチャ、キヌアの播種。エンドウマメの収穫。
	14	小金井	ムラサキトウガラシ、ゴーヤを播種した。
	18	小菅	雑穀播種、コムギ網掛け、エンドウの定植。
	25	小菅	エンドウマメ、ジャガイモとり残し、夏ダイコンの間引き、カボチャ、ズッキーニの定植。
6	2	小菅	学大実習。
	3	藤野	自給農耕ゼミ。
	8	小菅	エンドウマメ沢山収穫、ジャガイモ(インカのめざめ)初掘り、ニンジン間引き、九条ネギ、カリフラワー収穫。
	19	小菅	ダイズ、モロッコインゲン播種、ジャガイモ(男爵)収穫。
	22	小菅	ダイズ、モロッコインゲン播種、ジャガイモ(男爵)収穫。
7	2	藤野	打ち合わせ。
	20	小菅	野良仕事。
	22		JICA市ヶ谷でアフリカの雑穀について講義した。
	28		台風12号襲来した。
	30	小菅	キュウリ、ズッキーニ、九条ネギ収穫した。
8	9	小菅	台風13号襲来、トマト、ナス収穫始めた。スイカ、メロン、ナス、カボチャ、キュウリをイノシシが食害した。
	14	小金井	カリフラワー、ハクサイ播種した。
	17	小菅	キュウリなど収穫。今井さんの来訪中止。
	20	立川	食農教育ゼミを開催。
	27	小菅	環境教育学会のエクスカカーション受け入れ。トマト収穫。
9	1	小金井	キャベツ、ネギ、タマネギの播種。
	3	小菅	雨、ハクサイ、カリフラワー定植、カブ播種、インゲンマメ収穫。
	6	丹波山	丹波山村長を岡部さんと訪問。
	13	小菅	ダイコン播種。
	17	小菅	ジャガイモ(メーカーン)収穫、キュウリ、カボチャ収穫終了。ハクサイ、カリフラワーは食害で消滅。
	23	小菅	キュウリ、ジャガイモ収穫終了、キャベツ定植、サトイモ試掘。
	27	丹波山村	丹波山村村長に面会。
	30	小平	食農教育研究会、小平うどんの探索。
10	3	小菅	安孫子さんら3名訪問、サトイモ収穫、上野原経由で帰途についたが、木が倒壊して道路を塞ぎ、狭い林道を経由して桐原に出た。
	4	小金井	ホーレンソウを播種した。
	22	小菅	降霜、ニンニク、エンドウマメ播種、サトイモ、サツマイモを収穫した。
11	11	小菅	岡部さん宅、小柳先生と学生2名訪問、セレベス、ダイズを収穫した。
	16	小菅	中山先生ほか1名訪問。
	30	小菅	野良仕事
12	6	藤野	藤野地域センター訪問。

3. 農家日記 (2019 年)

農山漁村文化協会の農家日記を送られたので、この一年は野良仕事について日記をつけてみた (表 7)。小金井市の自宅ではキッチンガーデンを、小菅村では小規模農耕で家庭菜園ダーチャを作っていた。

森の畑2019 春夏作

ズッキーニ、カボチャ、キュウリ		10m
アマランサス 陸稲 モロコシ キビ アワ ヒエ ハトムギ ショクビエ		
トウモロコシ		3m
ジャガイモ	ニンジン	
	サツマイモ	
ダイズ		
	九条ネギ	
	エンドウマメ 4品種 (春野菜)	
	里芋	
トマト、ナス、トウガラシ	カボチャ	15m
里芋		

図 8. 森の畑の作付け、道を含めて約 2 アール



図 9. イノシシによる食害跡 (左)、野生獣の侵入を防ぐための電気柵の設置 (右)。

表6. 年間の農作業 2019年

月	日	場所	主な作業内容
1	1	小金井	庭、プランタの野菜は良く育っている。エンドウマメは2日に花芽をつけていた。
	11	小菅	乾燥でエンドウマメなどは干上がっていた。インド標本の整理。
	18	小菅	インド1985年分の標本整理。
	25	小菅	パキスタンの標本整理。麦踏、畑の乾燥が著しい。
2	7	小菅	標本整理。麦類は良好、キャベツは不良。記録的暖かさ。
	16	藤野	自然文化誌研究会総会。
	21	小菅	標本整理。畑の計測、東西方向に10m、南北方向に15m。
		小金井	ジャガイモ種薯到着、麴の注文。野菜類は良好に生育開始。
3	1	小菅	標本・図書の整理。エンドウマメ周辺の除草。
		小金井	借金なし大豆で味噌づくり。
	9	小菅	春耕、施肥、中耕、除草、キャベツに寒冷紗を掛ける。エンドウマメに支柱を立てる。
	15	小菅	除草。
	20	小菅	ジャガイモ定植、ニンジン、夏ダイコン播種。
		小金井	野菜類収穫、サラダなどにする。スナップエンドウが成り始める。
4	3	小菅	九条ネギ、タマネギ、キャベツ、カリフラワー定植。
		小金井	ロメインレタスなど収穫。オクラ、レタス、バジル、トウガラシ、ナス、トマトなど播種。
		小菅	ジャガイモ、ムギ類はイノシシに食害されて壊滅。ジャガイモは再注文。キャベツとカリフラワーは乾燥で枯死。里芋4品種定植。トウモロコシ3品種、オカボを播種した。
		小金井	スイカ2品種、カボチャ2品種、ズッキーニ2品種、キュウリ2品種、ゴーヤを播種した。キヌア播種、ショウガの定植。
5		小金井	クレマチスやバラが開花。
	7	小菅	ジャガイモを追加定植した。イノシシの食害、4カ所に穴、電気網修理。雑穀見本の播種。霜害でワラビは褐変。
	8	藤野	相模原市緑区長に雑穀街道の説明に伺う。
		小金井	野菜類の苗の鉢上げ。サツマイモの苗受け取る。
	18	小菅	学大実習。ウリ類定植、ニンニク収穫、夏ダイコン間引き。
	24	小菅	暑い一日。岡部さん宅に寄り、ジャガイモを頂いた。秋子さんにはワラビを頂いた。ウリ類定植、ネギ、ダイコン、エンドウマメ収穫。
	31	小菅	ナス、トウガラシ定植、ウリ類にウリハムシがつく。ニンニクなど収穫。
6	16	小菅	生育が全般的に不良。トマトにウイルス発生。
		小金井	オクラ、キキョウ、アサガオが開花。
	21	小菅	中耕、除草、追肥。ネギ、エンドウマメ収穫。図書整理。
		小菅	イノシシによる食害、ジャガイモ、サツマイモ、ほぼ壊滅。ニンジン、ネギ類は収穫。スナップエンドウは終了。未熟のジャガイモは緑化しやすい。同情されて秋子さんからジャガイモを頂いた。サルも侵入してトウモロコシを食害し、全滅。サル1頭は射殺されたようだ。
7	3	小菅	マメ類播種。麦類は穂刈りした。サルはコンニャク、ズッキーニ、サトイモなどを掘り出していた。
	6	羽村	羽村第一中学校の学校園、水田、水車を、福田さんの案内で見学した。
	13	小菅	イノシシは大豆も食べてしまった。
		小金井	麦類の乾燥、オクラ収穫。
	25	小菅	ニンジンも食害全滅。藤野の図書室分室、百笑の台所、振興センターに行った。
		小金井	梅雨明け、ゴーヤが咲いた。
8	2	小菅	野生鳥獣の食害は殆どに及び、トウモロコシも壊滅。
	9	小菅	カリフラワー苗は消滅、秋野菜の播種は見合わせて、森の畑は放棄することになった。
		小金井	台風が上陸した。ハウレンソウ、ニンジン、ハクサイなどを播種、ひよっとは日陰トマト、トウガラシ、ナスは生育が悪いが、収穫できるようになった。マメ類も開花していた。半白キュウリはよくできた。キビは登熟中、アワ、モロコシ、ハトムギは開花。シコクビエはイノシシに踏まれた。
		小金井	ゴーヤ、ハクサイなど収穫。
9	1	小菅	夏野菜は少し収穫できた。
		小金井	ルッコラ、バジルを片付け。キャベツ、ネギなど播種。台風15号襲撃。
	8	小菅	サトイモ3株収穫、モロコシインゲン多数収穫、
10		小金井	マイタケが出た。野菜類は良好に生育。九条ネギは陽当たりが悪かったので、全滅。
	10	小金井	議員会館で、家族農業プラット・フォームの会合に出た。
		小金井	台風19号。
	16	小菅	サトイモもすべて食害、全滅。アワ、モロコシ、ヒエは良い穂が収穫できた。シコクビエは食害で収穫不能。
11	5	藤野	雑穀街道普及会昼食。
	29	小菅	収集品の整理。畑資材の片づけ。
	30	小菅	國學院大學で家族農業研究会。
12		小金井	ワケギを購入して定植。キンモクセイのどの選定。ユズの収穫
	5	上野原	上野原市役所で、農業委員会と雑穀街道について協議した。
	13	小菅	収集品の整理。畑資材の片づけ。

森の畑は年間を通じて陽当たりの良い丘の南斜面のムギジである。しかし、登坂の上、少し小道を歩かねばならないので、緩いとはいえ足元が危うい。スクーターを使う守屋さんには困難が伴う。この南斜面の畑では過去にコムギが良く収穫出来ていた。しかしながら、中ぼどはすでに放棄されて、ワラビの生育地になっていた。年 2 回ほどの草刈りで、ワラビ採種地は維持できて、山菜として採るのは耕作するよりも容易であり、道の駅の物産館に出せば、とても良い収入になった。これらの理由で、縄文人が住んでいた陽当たりの良い畑の使用拡大することが許され、2019 年には耕作地を集約することにした (図 8)。

1) 早春 (1 月～3 月) 遊歩道から近い斜面の上部に雑穀見本園を作った。面積が拡大できたので、ジャガイモ (インカのめざめ、ダンシャク、マークイーン) の種薯を多く購入して定植した。ニンジンと夏ダイコンを播種した。

表 7. 購入種子の特性

採種地と種子農薬処理							
採種地	不明	有機種子	処理なし	農薬処理	%	合計	%
日本	3	0	36	3	7.7	42	31.3
アジア	2	0	15	6	28.6	23	17.2
オセアニア	0	0	9	1	10.0	10	7.5
北アメリカ	2	0	6	9	60.0	17	12.7
ヨーロッパ	3	3	18	4	16.0	28	20.9
アフリカ	0	0	4	0	0	4	3.0
南アメリカ	0	0	6	4	40.0	10	7.5
合計	10	3	94	27	-	134	100

種苗会社の比較

種苗会社	野口種苗	その他会社	農薬処理	野口種苗	その他会社
日本	31	11	不明	1	9
アジア	10	13	有機種子	3	0
オセアニア	1	9	処理なし	50	44
北アメリカ	1	16	農薬処理	6	21
ヨーロッパ	13	15	合計	60	74
アフリカ	3	1	%	44.8	55.2
南アメリカ	1	0	農薬処理%	10.2	32.3
合計	60	74	供試数	134	100%

2) 初夏 (4 月～6 月) 小金井で育苗していた九条ネギ、タマネギ、キャベツ、カリフラワーを定植した。ところが、この時期は降雨が少なく、乾燥によりキャベツ、カリフラワーは枯死した。ジャガイモは定植後すぐに、イノシシにほとんど被害された。改めて種芋 (ダンシャク、マークイーン) を注文して、再び定植した。ナスやトウガラシの育苗は良くできていたのだが、今度は降雨ばかりで、日照不足が続き、野菜の生育は著しく不良になった。追い打ちをかけて、再びイノシシにジャガイモやサツマイモが被害されて、ほとんど壊滅した。サル 3 匹がトウモロコシをすべて食べてしまった。これらのうち 1 匹は猟友会員により射殺された。イノシシ対策として、電気網の補修、ソーラー電池の接近点灯などを設置したが、全く効果はなかった。守さんが村役場に駆除依頼をしたが、対応してもらえずに、近隣の畑も著しい被害を受けることになった。

3) 夏 (7 月~9 月) その後も、防雀網や寒冷紗などの網はかけておいたが、鳥獣害は続いた。サルはコンニャク、ズッキーニ、サトイモを掘り起こし、イノシシとキジバトは芽が出たダイズをほとんど食べてしまった。カリフラワーなどの秋野菜の苗には防虫網をかけておいたが、すぐにすべて食べられてしまった。これらにより、その後の秋野菜の播種はやめた。雑穀見本園の生育はおおむね良好であった。アマランサス、キビ、アワ、モロコシ、ハトムギ、ヒエは十分に収穫できた。しかし、防雀網だけではイノシシの食害までは防げず、見本園の両端に栽培していたオカボとシコクビエは食べられてしまった。

4) 秋から冬 (10 月~12 月) サトイモ 3 株を試し掘りした後すぐに、すべてイノシシに食害された。このイノシシは大した大食獣で、よくこれほどの量のイモをきれいさっぱり平らげたものだ。ここに至って、縄文人が暮らした森の畑を耕作放棄することに同意せざるを得なくなった。資材や用具の片づけをした。

4. ダーチャ小規模農耕のまとめ

1) 購入種子の問題

購入種子の特性については 2018 年までに購入したものを表 7 に示した。種子の採種地は日本が 31%に過ぎず、大半はヨーロッパ、アジア、北アメリカ諸国などであった。農薬処理は日本とオセアニアでは少なく 10%以下であったが、北アメリカの種子は 60%が処理されていた。有機種子はヨーロッパのみで見られた。在来品種、有機種子を大事にしているという野口種苗とその他会社製品を比較すると、種子採種地については野口種苗が日本産 31%であるのに対して、他の会社は欧米産 (輸入) が多かった。野口種苗でも 10%の種子には農薬処理があり、他の会社では 32%以上に処理が施されていた。恐ろしいことと考えるが、日本で採種されている種子がいかに少なく、輸入する種子には農薬処理をすることが多い。食材の種子を日本で採種せずに、海外に依存して良いのだろうか。食料生産の自給および食品の安全、農業経済の向上にとって、とても危うい状況だと考える。自家採種と種子の交換を大いに進めるべきだ。

この 6 年間に使用した種子の一覧表を付録表に示した。海外から輸入した種子は成田空港においてすべて植物検疫を受けた。214 の品種を試作した。ただし、苗として購入したのはこれら以外にもあった。作況の良否は農地の環境とその年の天候によるが、小菅村の農耕地と小金井市の庭地に関して結果を示した。海外で購入した欧米の種子の大半は USDA などのオーガニック認証であった。ズッキーニ、ディル、スイスチャード、ルッコラ、ニンジン、レタスなどは良好な生育であったが、当然ながら良く育たなかった品種が多い。日本の種苗会社から購入した品種種子については作柄について大まかな評価を試してみた。

① 小菅村の農地では、麦・雑穀は良好、ジャガイモ、サトイモはとても良い。サツマイモはできなくはないが、収量は少ない。インゲンマメ、エンドウマメ、ダイズは品種を選べばとても良くできる。カブ、ダイコンなども出来は良いのだが、テントウムシダマシが多く発生して、無農薬栽培の場合は防虫網で覆わなくてはならない。キャベツやブロッコリーにはアオムシがひどく食害する。ウリ類も良くできるのだが、初夏にウリハムシの発生が多いので、やはり防虫網で覆わなくてはならない。炭疽病やうどんこ病も出るが、梅雨があければ生育も良く、虫害も減る。ズッキーニはとても良くできる。トウガラシはどの品種も出来がよい。トウモロコシはカラスやサルが食害するので、電気柵や網掛けをしないと食害を受ける。トマトは自生のものはとても良いが、品種によっては疫病が発生して、

不作になる。ナスは高冷地・低温では生育が遅くて、ほどほどにしかできない。ニンジン
は品種によっては良い。ニンニクは冬に月に一回程度、作土を踏みつけて、霜柱対策をす
ればとても良い。九条ネギやリーキは良い苗があれば、良好であるが、さび病は少し出る。
ジャガイモやタマネギは水分の多い畑では難しい。連作のジャガイモにはそうか病が出て
きている。この他に、早朝や曇天の日にはブヨが多くでて、刺されると痛痒が長く続く。
ヨトウムシは少ないが、発生することもある。蚊はほとんどいない。

② 小金井市のキッチンガーデンでは、レタス、ミズナ、ホーレンソウ、シュンギク、ル
ッコラ、バジル、ディルの生育がとても良く、サラダにできる。ダンゴムシやチョウ・ガ
の幼虫が食害するので、無農薬の場合はピンセットで除去せねばならない。豆類、トマト、
カリフラワーなど花や実を取る作物は、日照不足でよく取れない。グリーン・カーテンのゴ
ーヤやハヤトウリは何とか収穫できる。ミョウガ、ショウガ、マイタケなど半日蔭や日蔭
を好む作物は良くできる。ベイリーフ、サンショ、ユズ、レモンバウムなども良好である。

小金井の自宅は南向きで、西と北にも私道があるために開けている。夏には、林下の庭
木が茂るので、陽当たりが半減する。南面 2 階のベランダは終日陽当たりがよく、育苗の
場所にしていた。西面は午後から陽が当たる。③ 付録表 (2019) を見ると、表 8 で示し
た以上に、日本で購入した種子の生産地の多くが海外であることに気付く。中でも、代表
的な京野菜である九条ネギは南アフリカやチリ、京ミズナはニュージーランドで、日本で
は採取されていないことに驚く。ダイコンはイタリア、ホーレンソウ (和洋ともに) やシ
ュンギクはデンマークにおいて主に採取されている。

2) 栽培植物と人間の共進化

人間は植物の栽培化過程 domestication において、無意識、敵対 共存 共生へと小進化
に関与してきた。今日でも、野生祖先種 wild や雑草と栽培種のコンプレックスは雑種形
成が可能である。近代になってからは人為による交雑で品種分化が著しくなり、今日では
遺伝子組み換え、編集などの技術によって、特定作物においては隷属的な商品化過程
commercialization が始まっている。さらに種属を超えた遺伝子組換え品種が市場に出る
ようになったところで、隷属 subjection は画一化の極限に達し、栽培植物の生物多様性
は終焉する。このようなことにならないように栽培植物を巡る生物文化多様性の保全を
図らねばなるまい。黙示録に書くような、現代文明が悲惨な終焉を迎えた遙か後には、隷
属から解かれた植物との新たな共生の道があるのだろうか。もう一度、Wall-E に描かれた
ように (アニメ映画)、農耕の起源を再現するのだろうか。もちろん、現世で課題解決をな
すべきであって、誰もそれを願わない。

3) 鳥獣害、病虫害および雑草

野生鳥獣、病虫害、野草や雑草は、山間地の農地ゆえに、著しく多い。このような場所
で有機農法をすることはとても難しかった。それでも先人たちは山間の落ち葉を集め、ウマ
を飼い、有機農法で暮らしの食材を栽培して家族を養ったのだろう。水源地を汚染しな
いように、化学肥料や農薬は多用しないようにせねばならず、このような家族農耕には環
境保全のためにも直接支払いによる支援が求められる。

2019 年の春から夏は気候変動が著しく、乾燥に次ぐ、多い降雨、日照不足が続き、奥山
の野生鳥獣たちの食物も出来が悪く、里山や里に降りてきて食害をせざるを得なかったの
だろう。彼らとて生きるに必死で食を探しているのだから、過去の山村農のように、秋の収

穫期には出作り小屋を作って、人々も必死で夜毎、畑を見回り、大声を挙げなければならなかったのだろう。しかし、私がこの農耕地に食を依存していたとしたら、今年は多大な経済的に損害を受け、さらに飢饉に瀕したということだ。食材を奪い合うか棲み分けするか、野生鳥獣に対抗する狩猟はなくてはならない生業だ。単純な自然保護論では山村の暮らしは成り立たない。今や、里の衰退に乗じて、イノシシやサルなどは奥山から里山、里から街にも順化して進出し、少なからずの人々を襲うようになった。

4) 耕作放棄地

この 6 年間のささやかな現場経験はまねごとのレベルにすぎなかったが、それでも山村農の重要性と捨て置かれた現況とをよく認識できた。耕作放棄が拡大してきた経緯はよく理解できたので、現実的な対応をせねばならない。過疎高齢化などと言うだけでは課題は広がるばかりで、根本的な文明観の転換と暮らしの見直しが必要だ。文明史的な変曲点 tipping point はすでに過ぎており、いつまでも最初の一步とか、2019 年は環境危機が明確になったとか、僭越ながら、口先ばかりで言っている日本の人々の無知（無恥）さは哀れに悲しいほどだ。私は決して尊大に考えているのではない。もう 50 年以上も同じことを繰り返し、主張してきたが、あまり変わらなかった。むしろ、無策のためにより悪く変わってきたのだろう。そして 2020 年に向けて、自然権、生業の自由、食料主権を日本国憲法の条文に明瞭に書き加えて、環境原理として行政策の実行を強く求めたい。憲法は国権力が国民・市民の権利を保障するための契約の書である。公務員は憲法を遵守せねばならない。主権が国民・市民にあるのだから、私たちは憲法による権利をよりよく明文化するために、学び、意見を表明するべきである。国会が憲法審議するために意見を自由闊達に述べて良いはずだ。環境教育推進法を私が提案した時は、NPO 環境文明 21 の藤村さんが取り上げてくださり、一緒に学習会やシンポジウムを行い、超党派で多くの国会議員に陳情し、議員立法していただいた。参議院本会議も傍聴したが、反対者は 3 名にすぎなかった。こうした立法過程が代議制民主主義の比較的良い事例だろう。

憲法を改正するには国会議員の 3 分の 2 以上の賛成の上に、さらに国民投票により過半数の賛成が必要だ。すなわち、国民・市民の議論を大いに喚起して、国会議員は超党派で十分に議論しなければできないことだ。日本の民主主義はこの過程で鍛えられるのだ。このように考えて、生業の自由、食料主権の保障のために、『自分で考える日本国憲法』などを DVD に入れて、複数の国会議員に陳情として送付した。

2020-1-10

付録表 使用した種子品種

作物	品種	種苗会社	生産地	有効年	作柄	備考
Artichoke	Romanesco	bavicchi	Italia			植物検疫済
Basil	dolce vita blend	Botanical Interests	USA	15		植物検疫済
bean bush	gold rush	Botanical Interests	USA	15		植物検疫済
beet	gourmet blend	Botanical Interests	USA	15		植物検疫済
Blue poppy	Tibetan blue poppy	VanDusen Botanical Garden	Canada	12		植物検疫済
Broccoli	purple sprouting Claret	unwins	UK	13		植物検疫済
Carrot	rainbow mix	unwins	UK	13		植物検疫済
Carrot	carnival blend	Botanical Interests	USA	15		植物検疫済
Chocolate lily		Nature's Canadian Seed Company	Canada	12		植物検疫済
Chou Furrager Proteor		Les Doigts Verts	France			植物検疫済
Cicorie	Mixer	bavicchi	Italia			
Courgette Verte non coureuse d'Italie		Les Doigts Verts	France			植物検疫済
cucumber	homemade pickles	Botanical Interests	USA	14		植物検疫済
Curly endive hair angel		Eurogarden	Espana			植物検疫済
Delphinium	mixed blues	VanDusen Botanical Garden	Canada	12		植物検疫済
dil		Duchy originals	UK	13		植物検疫済
Kohlrabi	Superschmelz	Florina	Germany			植物検疫済
Kopfsalat	Attractie Attraktion	Gartenland	Germany			植物検疫済
Lettuce	allsorts	unwins	UK	13		植物検疫済
Mangold Bright Lights F1		Gartenland	Germany			植物検疫済
melon	Amarillo oro-Canari	Euro garden	Espana	20		植物検疫済
melon	hearts of gold	Botanical Interests	USA	14		植物検疫済
Mohren	Purple Haze	Gartenland	Germany			植物検疫済
Onion	Red Sunrise	unwins	UK	13		植物検疫済
onion	North Holland Blood Red	unwins	UK	13		植物検疫済
pepper	hot blend	Burpee	USA	15		植物検疫済
Round Radishes	Pink punch	Renee's Garden	Canada	12		植物検疫済
Rucola	Coltivata	bavicchi	Italia			植物検疫済
Runner bean	dwarf flamenco	unwins	UK	13		植物検疫済
Salad	Mixer	bavicchi	Italia			植物検疫済
Schokoladen-und Vanilleblume		Gartenland	Germany			植物検疫済
Schoeis & Sahne						
Signature salads	crispy winter greens	Renee's Garden	Canada	12		植物検疫済
sommerblumen	Halbhohe Mischung	Gartenland	Germany	19		
Summer squash	dark green zucchini	Burpee	USA	15		植物検疫済
sweet pepper	Carnival blend	Burpee	USA	15		植物検疫済
Swiss Chard	five color silverbeet	Botanical Interests	USA	15		植物検疫済
tomato	red & yellow pear blend	Botanical Interests	USA	15		植物検疫済
tomato	Pole Cherokee purple	Botanical Interests	USA	15		植物検疫済
tomato cherry	sweetie	Botanical Interests	USA	15		植物検疫済
Turnip	sweet bell	unwins	UK	13		植物検疫済
White Tawn lily		Nature's Canadian Seed Company	Canada	12		植物検疫済

wild rose		Nature's Canadian Seed Company	Canada	12		植物検疫済
Zierkurbis Essbare Spezialmischung		Gartenland	Germany			植物検疫済
Zucchini	Romanesco	bavicchi	Italia			植物検疫済
Zwiebeln	Stuttgarter Riesen	Florina	Germany			植物検疫済
アルファルファ	もやし用	野口	アメリカ	14	固定	
アズキ	宮古島黒	トーホク	アメリカ	15		チウラム
イキシア	混合	花の大和	鹿児島			
イネ	陸稲農林一号	野口	岐阜	16	○	
インゲンマメ	モロッコ	野口	北海道	16.17.18	◎ 固定	無消毒
インゲンマメ	つるなしモロッコ	タキイ	タイ	16		無消毒
インゲンマメ	うまい大ひらさや	トーホク	中国	17	○	チウラム
インゲンマメ	マンズナル	野口	北海道	16		無消毒
インパティエンス	パレードミックス	サカタ	デンマーク	15		無消毒
ウリ	赤毛瓜	トーホク	ベトナム	14	◎	無消毒
エンドウマメ	ゆうさや	野口	中国	17	◎	チウラム・チオ ファネートメチル
エンドウマメ	日本絹莢	野口	中国、イタリア	17.18	◎	無消毒
エンドウマメ	スナック	野口	アメリカ	17.18	◎	チウラム
エンドウマメ	園研大莢		茨城	17	◎	無消毒
エンドウマメ	仏国大さやエンドウ	トーホク	アメリカ	17	◎	チウラム
エンドウマメ	赤花絹さや早生	トーホク	アメリカ	16	◎	チウラム
エンドウマメ	赤花絹さや早生	野口	岩手	18	◎	無消毒
エンドウマメ	スナック2号	サカタ	アメリカ	19	◎	チウラム
オクラ	ジョニー	アタリヤ	インド	19	◎	不記載
カブ	みやま小かぶ	野口	岩手	11		無消毒
カブ	日野菜	野口	イタリア	10	◎	無消毒
カブ	金町小かぶ	サカタ	イタリア	16		無消毒
カブ	藤のかがやき	トーホク	長崎	15		無消毒
カブ	聖護院大丸	サカタ	デンマーク	17		無消毒
カブ	聖護院、京の雪	トーホク	ニュージーランド	16・17	◎	無消毒
カブ	博多据り	野口	福岡	17		無消毒
カブ	温海	野口	山形	17		無消毒
カブ	ステラ、ピオラ他混合	アタリヤ	イギリス	20		不記載
カブ	聖護院	アタリヤ	イタリア	19		不記載
カボチャ	黒皮栗	野口	オランダ	18	固定有機	EU-BIO認定
カボチャ	東京	野口	中国	13		消毒塩基性塩化銅
カボチャ	くりほまれ	サカタ	北海道	18		チウラム・ベノミル
カボチャ	日向14号	野口	長野	16		無消毒
カボチャ	打木赤皮甘栗	野口	岩手	16	◎	無消毒
カモミール		トーホク	エジプト	18		無消毒
カラシナ	シマナ(沖縄からし菜)	トーホク	ニュージーランド	14		無消毒
カリフラワー	白穂	トーホク	香川	15・18		無消毒
カリフラワー	ミナレット	松永育成	愛知	14・15・16	×	未記載
カリフラワー	野崎早生	野口	鹿児島	15.18	◎	無消毒
キャベツ	味星	トーホク	アメリカ	18		
キャベツ	富士早生	トーホク	オーストラリア	17		無消毒
キャベツ	富士早生	野口	岐阜	18		無消毒
キャベツ	冬藍	サカタ	チリ	16		チウラム
キュウリ	耐病節成	野口	埼玉	16	◎	無消毒
キュウリ	相模半白	野口	中国	17	◎	無消毒
キュウリ	一番星	トーホク	中国	16	◎	無消毒
キンレンカ	混合	トーホク	アメリカ	15		無消毒
ゴーヤ	沖縄あばし	野口	タイ	13.18	○	消毒、過酸化水素水

ゴーヤ	新風(節成中長)	トーホク	ベトナム	17	○	無消毒
コスモス	黄花、ロードミックス	サカタ	チリ	12	○	無消毒
ゴボウ	大浦太	野口	岩手	15・16	×	無消毒
ゴボウ	美肌	野口	岩手	15	×	
ゴボウ	コバルト早生	アタリヤ	岩手	18	×	不記載
ゴマ	金	野口	茨城	16	△	固定 無消毒
コマツナ	早生丸葉	野口	イタリア	11・13		無消毒
コマツナ	はやどりF1	アタリヤ	ニュージーランド	19		不記載
コムギ	ゆきちから	野口	岩手軽米	15	◎	無消毒
コムギ	南部	野口	岩手	17	◎	無消毒
サトイモ	絹ひかり、上庄、セレベス、石川早生、など	農業屋	三重	18,19	◎	
サラダミックス	5種混合	トーホク	中国	15	◎	無消毒
ジャガイモ	ノーザンルビー	サカタ			◎	
ジャガイモ	ダンシャク				◎	
ジャガイモ	メークイン				◎	
ジャガイモ	インカのめざめ				◎	
シュンギク	大葉	野口	デンマーク	15		無消毒
シュンギク	サラダ	アタリヤ	デンマーク	19	◎	不記載
シュンギク	スティック	野口	デンマーク	17		無消毒
スイカ	新大和2号	野口	タイ	18		無消毒
スイカ	乙女	野口	三重	18		無消毒
スカシユリ	5色混合	花の大和				
ズッキーニ	グリーンポート2号	アタリヤ	中国	19		不記載
ズッキーニ	Patty Pan Mix	Unwins	イギリス	旅行時	◎	植物検疫おk
スパラキシス	混合	DCM	オランダ		不記載	
ダイコン	時なし	野口	イタリア	15		無消毒
ダイコン	白首夏	野口	イタリア	11	◎	無消毒
ダイコン	秋づまり	野口	イタリア	16		
ダイコン	白姫はつか	トーホク	イタリア	15	◎	無消毒
ダイコン	三浦	サカタ	イタリア	13・17		無消毒
ダイコン	フレンチ・ブラックファスト	タキイ	アメリカ	5		不記載
ダイコン	大蔵	サカタ	ニュージーランド	13		無消毒
ダイコン	大蔵	野口	イタリア	18		無消毒
ダイコン	冬どり聖護院	タキイ	鳥取	13		イブロジオン、キャプタン
ダイコン	聖護院	サカタ	中国	16		無消毒
ダイコン	春づまり	アタリヤ	福岡	18		不記載
ダイコン	二十日大根3種混合	トーホク	イタリア	16		無消毒
ダイコン	高農聖護院	野口	イタリア	18		無消毒
ダイコン	貴宮(夏の恵)	アタリヤ	アメリカ	19		不記載
ダイズ	借金なし	野口	秋田	16		在来 無消毒
ダイズ	借金なし八木原オリジナル	佐野さんから寄贈	秩父		◎	八木原さん育種
ダイズ	晩生白	野口	長野		×	固定
タマネギ	ジェットボール	野口	香川	16	◎	無消毒
タマネギ	泉州中甲高黄大	野口	香川、イタリア	16,18		無消毒
タマネギ	OL黄	タキイ	香川	16		無消毒
タマネギ	貝塚早生	サカタ	イタリア	16		無消毒
タマネギ	立春のかおり	アタリヤ	茨城			無消毒
トウガラシ	紫	野口(ナント育成)	長野	15,17	◎	奈良在来 無消毒
トウガラシ	伏見甘長		長野	14	◎	無消毒
トウガラシ	ひもとうがらし	野口(ナント育成)	長野	15	◎	奈良在来 無消毒
トウガラシ	万願寺	野口	徳島	14・16・18	◎	無消毒
トウガラシ	在来辛い		高知	2016	◎	
トウガラシ		カレン族	タイ			

トウモロコシ	ゴールドラッシュ	サカタ	アメリカ、オーストラリア	15・17		チウラム・ベノミル
トウモロコシ	極早生甘いバンタム	トーホク	アメリカ	17・18	非遺伝子組み換えF1	チウラム・ベノミル、チウラム・キャプタン
トウモロコシ	あまいバンタムDX	トーホク	アルゼンチン	19	非遺伝子組み換えF2	チウラム・ベノミル
トウモロコシ	ミルキースイーツF1	アタリヤ	チリ	18		チウラム、メタラキシル
トウモロコシ	おおももの	アタリヤ	チリ	18		キャプタン・ベノミル
トウモロコシ	ゆめのコーン	サカタ	アメリカ	16	非遺伝子組み換えF2	チウラム・ベノミル
トマト	麗夏	サカタ	ブラジル	18		
トマト	フルティカ	タキイ	タイ、チリ、タイ	16・18.19		
トマト	ポンテローザ	野口	香川	16・18		無消毒
トマト	Tres Cantos	Euro garden	スペイン	旅行年	有効2021	
トマト	マティナ	野口	オランダ	17	固定有機	EU-BIO認定
トマト	ボルゲーゼ	野口	埼玉	18		無消毒
トマト	世界一	野口	中国	14	△ ×	無消毒
ナカジマナ	中島菜	松下種苗店	石川	15		無消毒
ナス	房成真黒	野口	埼玉	14		無消毒
ナス	中長	サカタ	中国	16		無消毒
ナス	新長崎長	野口	福岡	18		チウラム、赤色素
ナス	山科	野口	長野	18		キャプタン剤
ナス	加茂大芹川丸	野口	徳島	15		無消毒
ニラ	大葉にら	トーホク	茨城	16		無消毒
ニンジン	横浜改良四寸	野口	オーストラリア	16		無消毒
ニンジン	子安三寸	野口	イタリア	17.18	◎	チウラム・イプロジオン
ニンジン	時なし三寸	野口	長野	15		無消毒
ニンジン	時なし三寸	野口	イタリア	18		無消毒
ニンジン	あまさん	トーホク	フランス	15		チウラム・イプロジオン
ニンニク		アタリヤ	中国			無消毒
ニンニク	ホワイト6片	花の大和	青森		◎	無消毒
ネギ	石倉根深一本	野口	チリ	15		無消毒
ネギ	京都九条太	野口	南アフリカ	15	◎	無消毒
ネギ	九条太	野口	南アフリカ	15・16.18	◎	無消毒
ネギ	九条太	トーホク	チリ	15		無消毒
ネギ	浅黄九条細	トーホク	チリ	15		無消毒
ネギ	浅黄九条	野口	南アフリカ	18		無消毒
ネギ	九条	アタリヤ	イタリア	19		不記載
ノラボウナ	のらぼう菜	トーホク	栃木	17		無消毒
ハクサイ	郷秋60日	トーホク	アメリカ	15		無消毒
ハクサイ	松島新2号	野口	アメリカ	18		無消毒
バジル	ペニンシュラでもらう		オランダ	10		不記載
バジル		野口	インド	11	◎	無消毒
バジル		トーホク	中国	18		無消毒
バジル		サカタ	インド	19		無消毒
パセリ	パラマウント	カネコ	アメリカ	15		不記載
パプリカ	ゴールドキング他ミックス	アタリヤ	オランダ	18		不記載
ピーマン	魁	野口	中国	16	×	無消毒
ブロッコリー	緑積	トーホク	アメリカ	16		無消毒
ブロッコリー	ピクセル	サカタ	アメリカ	15		チウラム
ヘチマ	ヘルシーな一べら一	トーホク	ベトナム	14	◎	無消毒
ベビーリーフミックス	和風(コマツナ、山東べかな、レッドアジアマスタード、早生千筋京水菜)	カネコ	イタリア	15	◎	不記載

ハウレンソウ	オーライ	タキイ	デンマーク	14		チウラム
ハウレンソウ	ノーベル	野口	デンマーク	16		無消毒
ハウレンソウ	次郎丸	野口	デンマーク	15	日本	無消毒
ハウレンソウ	早生サラダあかり	タキイ	スエーデン	20		チウラム、メタラキシル
ハウレンソウ	やまと	トーホク	アメリカ	18	日本	不記載
マリーゴールド	フレンチ、ボーイ混合	タキイ	アメリカ	15		無消毒
ミズナ	京しぐれ	タキイ	ニュージーランド	14	◎	無消毒
ミズナ	サラダ京水菜	トーホク	ニュージーランド	15	◎	無消毒
ミズナ	早生千筋京水菜	野口	イタリア	19	◎	無消毒
ミズナ	千筋京菜	サカタ	ニュージーランド	19	◎	無消毒
メイケナ	女池菜	野口	新潟	13		無消毒
メロン	プリンス	サカタ	中国	16		チウラム・ベノミル、塩基性塩化銅、食酢 記載なし
モロヘイヤ		カネコ	台湾	15		記載なし
リーキ	マイルドフレーバー	野口	イタリア	17	◎	固定有機 EU-BIO認定
ルッコラ	オデッセイ	サカタ	イタリア	19	◎	無消毒
レタス	ガーデンレタスマックス (フリンジーレッド他4品 種)	サカタ	アメリカ	16・17	◎	無消毒
レタス	ガーデンレタスマックス (コスレタス、レッドオーク 他)	アタリヤ	アメリカ	19	◎	不記載
レタス	サラダミックス(タンゴ、バ リア일랜드、アナポリス 他)	タキイ	アメリカ	19	◎	無消毒
レタス	ベビーリーフ(早生ミズ ナ、タアサイ他)	アタリヤ	イタリア	19	◎	不記載
レタス	コロッセオ	トキタ種苗	チリ	18	◎	ロメンレタス 無消毒